

# 平成30年度第9回定例会

## 八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	平成30年8月29日（水）	午前9時30分
場	所	八王子市役所 議会棟4階	第3・第4委員会室

## 第9回定例会議事日程

- 1 日 時 平成30年8月29日(水)午前9時30分
- 2 場 所 八王子市役所 議会棟4階 第3・第4委員会室
- 3 報告事項
  - ・第3回中学生サミットの実施結果について (指導課)
  - ・平成30年度北海道白糠町小学生交流事業の実施結果について (生涯学習政策課)
  - ・特別展示「明治の八王子と自由民権運動」の実施結果について (図書館部)

---

### 出席者

教 育 長	安 間 英 潮
委 員	村 松 直 和
委 員	柴 田 彩 千 子
教育長職務代理者	大 橋 明
委 員	笠 原 麻 里

### 教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	設 樂 恵
学校教育部指導担当部長	斉 藤 郁 央
学校給食施設整備担当課長	小 林 順 一
教 育 総 務 課 長	渡 邊 聡
学 校 教 育 政 策 課 長	橋 本 盛 重
学校複合施設整備課長	内 野 茂 樹
施 設 管 理 課 長	松 土 和 広
保 健 給 食 課 長	田 倉 洋 一
教 育 支 援 課 長	穴 井 由 美 子
指 導 課 長	中 村 東 洋 治
教 職 員 課 長	溝 部 和 祐

統括指導主事	野村洋介
統括指導主事	上野和広
生涯学習スポーツ部長	瀬尾和子
生涯学習政策課長	岡本洋
スポーツ振興課長	清水秀樹
スポーツ施設管理課長	佐藤晴久
学習支援課長	浅岡秀夫
文化財課長	中野みどり
歴史文化構想担当課長	平塚裕之
こども科学館長	遠藤譲一
図書館部長	石黒みどり
中央図書館長	太田浩市
生涯学習センター図書館長	新納泰隆
南大沢図書館長	安達和之
川口図書館長	成田俊雄
指導課指導主事	高木紘二郎
指導課指導主事	星野正人
指導課指導主事	北川大樹
生涯学習政策課主査	杉山浩一
中央図書館主査	小川久美子
中央図書館主査	西尾敦司
教育総務課主査	堀川悟
教育総務課主事	飯田知子
教育総務課主事	小山ちはる
教育総務課嘱託員	古瀬村温美

【午前9時30分開会】

安間教育長 大変お待たせをいたしました。本日の出席は、5名でありますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより、平成30年度9回定例会を開会いたします。

本市では、地球温暖化対策、省資源対策の一環として、節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯や、職員のクールビズを実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、笠原麻里委員を指名いたします。よろしくをお願いいたします。

それでは、議事を進行いたします。

安間教育長 報告事項となります。指導課から報告をお願いします。

上野統括指導主事 第3回中学生サミットの実施結果について、担当の北川指導主事より御説明いたします。

北川指導課指導主事 定例会報告事項資料を御覧ください。

平成30年8月3日、金曜日、八王子市教育センターにて、第3回中学生サミットを実施いたしました。2の(1)にありますように、今回の中学生サミットは市立中学校の代表生徒が集まり、「地域の一員として、地域にどのように役に立つことができるか～現在の取組とこれからできること～」をテーマに、地域により貢献できる内容や方法を話し合い、その結果を提言にまとめ、地域のまちづくりに生かすことを目的にしています。当日の参加者は各校2名の八王子市立中学校代表生徒74名、参観者については学校管理職、引率教員、中学生、保護者・地域の方等46名の計120名となりました。実施方法については、2の(3)にありますとおり、4つのブロックに分かれて、ブロック会を行い、そこでの協議をもとに全体会を行いました。各ブロックの協議内容については、(6)に整理しています。

1ブロックでは、中学校同士が協力して、クリーン活動の規模を大きくする、という提案がまとまり、具体的な取組として、クリーン活動に人を多く呼ぶために、中学生が災害食を作り、配布するという意見が出されました。

2ブロックからは地域の方が過ごしやすい街をつくるために、クリーン活動をす

るという提案がまとまり、具体的な取組として、近くの小学校の児童や、地域の方の参加を促すために、ポスター等で呼びかけるという意見が出されました。

3ブロックからは、八王子の自然を守り、世界に広げてゆくという提案がまとまり、具体的な取り組みとして、高尾山を守り、自分の地域を守るクリーン活動、緑化活動を共に取り組むという意見が出されました。

4ブロックからはクリーン活動にもっとたくさんの方が参加できるようにする、という提案がまとまり、具体的な取組として、青少対・小学校と連携する、活動に必要な道具を増やす、という意見が出されました。

裏面を御覧ください。全体会では各ブロックからの提案を発表し、さらに協議を深めました。事前アンケート、市立中学校全生徒を対象にしたアンケートですが、これによれば、地域の行事に参加したことがある中学生の割合は3割程度にとどまっているというデータを踏まえ、各中学校の提案を集約する中で、議論は各中学校で行っているクリーン活動の充実と、取組の発信に焦点が絞られていきました。ここでは、具体的には「八王子出身の有名人と一緒に活動する」、「ごみを拾いながら、花の種もまくとよい」などの中学生らしい発想によるアイデアが出されました。このような全体会での協議を経て、第3回の中学生サミットとして、「広げようクリーン活動自分たちの未来づくり～『もう八王子、拾えるゴミはありません』～」という提言にまとまりました。この提言に基づき、各中学校での取り組みが一層推進されてゆくこととなります。中学生が本気で考えてまとめて考えた提言をこの場だけのもので終わらせず、実現に向けて取り組んでゆく必要があります。今後に向けて、中学生が地域行事などの企画に積極的に参画してゆくことが、身近な地域の活動の活性化につながってゆくものと期待することができます。そこで、今回の地域を良くする活動についての中学生のアイデアをグランドメッセージ作成の市民ワークショップに提供するとともに、大学コンソーシアム八王子、学生発表会にて発表することを通して、地域のまちづくりに生かす契機としてゆきます。

最後になりますが、中学生サミットの取り組みの取り組みを単発でないものに、そしてテーマ設定や、中学生の話し合いの進め方についても、改めて検討してゆく予定です。

第3回、中学生サミットの実施結果については以上でございます。

安間教育長 只今、指導課からの報告が終わりました。

本件について、御質疑等はありませんか。

柴田委員 説明ありがとうございました。このような中学生サミットの機会に、中学生が地域の一員であることが自覚できたということは、とても有意義なことだと思います。そこで、1点、質問なんです、中学生が今後、地域行事などの企画に積極的に参画してゆくというのが、今後の指針として示されておりますけれども、例えば、どんな地域行事が、具体的に言って、中学生がどういうふうに参画できるのか、というようなところまでの情報提供のあり方ということについて、お考えがあれば、教えていただきたいと思います。

北川指導課指導主事 各学校や、地域の実情で一律に指導助言をするのは、なかなか難しいと思いますので、さっそく2学期の担当指導主事の学校訪問の中で、学校の管理職や生徒会等の動きを確認させていただいて、その学校地域にあった情報を提供してゆくということで、今確認をしているところです。

柴田委員 ありがとうございます。ぜひ八王子はとても広いですので、地域ごとにどういう身近な行事に子どもたちが参画できる機会があるのかというようなことを示すことができるように、ぜひ、実施していただきたいと思いました。

安間教育長 ありがとうございます。

ほかにございましょうか。御意見でも結構です。

大橋委員 前回、この定例会で中学生サミットの話があったとおり、地域行事、地域にどのように役に立つか、どちらかという、その地域の捉え方、町会のレベルのかなというふうに思っています。協議内容を見てみると、八王子の自然を守り、世界に広げてゆく、あるいは中学校同士が協力する、視点の広がりが出てきたというのが、私はすごくすばらしいことだと思いますので、ぜひ次回、サミットをやる時にはそのような視点を取り込んだテーマ設定ができるの良いのかなというふうに思います。

以上です。

安間教育長 ほかにございましょうか。

村松委員 おはようございます。御苦労様でした。中学生サミットのほうも、ずいぶん盛況で、皆楽しかったという意見もちらほら聞こえてきます。そこで、質問なん

ですけれども、提案、具体的な取組、先ほど御説明の中にもありましたこのクリーン活動、この規模を拡大していくとか、3ブロックは高尾山の麓ということで、高尾山を守る、そういう話は中学生が出してくれたと思うのですけれども。クリーン活動に特化していますが、この他にどんな意見が出たんですか。

北川指導課指導主事 全体会の話の流れはおおむね、クリーン活動だったのですが、これは、中学生の地域行事の参加が3割程度というところがありまして、具体的に中学生が参加できるということを踏まえるとか、こういうことだったんですが、やっぱり、八王子の魅力をもっと発信していくとか、中学生の活動をもっと広く知らせていくというようなことの見解が幾つか出まして、その中で、例えば特産物みたいなものを作っていくとか、アピールをどんどんインターネット上でしてゆくとか、そういった意見もこのクリーン活動とあわせて出てきた意見です。

村松委員 すばらしいですね、なんとか具現化できるように、指導課、市教委のほうで何かバックアップできればと思います。青少対さんがクリーン活動というのを積極的にやってくださって、私も中学校のクリーン活動に参加したことがあるんです。このクリーン活動は中学生が主体となって、やってくれるんですけれども、地域の大人が、例えば、町会の方とかまたはPTAの本部役員だとか、いつも限定されているんですね。ですから、それをどういうふうに促して、参加してもらうかというのは、中学生にも発信してもらって、なおかつ市教委のほうも。すばらしい提案がありましたよね。「八王子、拾えるゴミはありません」、これを前面に押し出して、八王子の市民の皆様にも中学生が一生懸命クリーン活動をやっているんだよと、皆様も参加してくださいね、ということ促していけるようなそういう取組を、ちょっとこちらの方で考えていただければと思います。

以上です。

安間教育長 ありがとうございます。他にございましょうか。

上野統括指導主事 今、お話があったようにクリーン活動というのは、地域ごとの取組になりますので、なかなか子どもたちとの直接的な接点というのは、今の時点ではないかと思います。八王子市の小中学校は、地域運営学校ということで、非常に多くの地域の方に参画をしていただいております。ですので、こちらのほうから、校長会を通して、子どもたちが地域にお話をできる機会を設けてほしいというのを、

お話させていただいて、子どもたちと地域を橋渡しできるような形で後押しをしていきたいなというふうに今は考えております。

村松委員　ぜひ、皆様よろしく願いいたします。それで、後は4ブロックの活動に、必要な道具を増やすと書いてあったんですけども、例えば、鎌ですとか、私も思っていたのは、雑草を取ったり、ごみ拾いの時に必要な道具って、結局、学校に備えているものって、少ないのですね。いつも取り合いじゃないですけども、そういう便利なものを取り合って、みんなでやるという、後はごみ袋を持ったり、ごみを拾う人というように、分かれるんですけども。そういうものも道具を増やすというの、考えていただければなと思います。

中村指導課長　それにつきましては、ごみ減量対策課との担当所管にも事前にお話をしておきまして、当日参加していただいております。そこに関しては、所管の方でも検討していきたいというふうなお話を伺っております。

安間教育長　他によろしゅうございましょうか。

私のほうから一点。補足説明してもらいたいのですが、前回協議した時に、こういう話し合いをするんだったら、地域の方々にも聞いていただいて、感想でも聞いたらやりがいが増すんじゃないかというような教育委員会としての意見がございましたよね。あれに対して、どんな対応をしたのかの補足説明をしてください。

北川指導課指導主事　前回いただきました意見を踏まえまして、最後の講評を中学校の校長先生が1名と、元教育委員で松木中学校の学運協の委員である金山様からコメントをいただくという形を取らせていただきました。

安間教育長　次年度以降は、地域の方々をもっと巻き込んでという計画なんですよね。ステップとしてはよろしいんじゃないかと思います。

私のほうからも一点だけ意見を述べさせていただくと、今、ずっと議論になっていますように、地域にいる子どもたちですから、学校に所属しているとはいえ、地域のさまざまな活動にどんどん参加してゆくというのは、とっても大切なことだろうなと思うんです。やっぱり、2の(6)の協議内容についても、具体的な取組の文言が、クリーン活動に人を多く呼ぶためとか、地域の方の参加を促すため、とかあって、主体が学校なんですよね。これって、もともと学校の体質というのは、学校の教育活動としてやるものだから、学校主体で物事を考えている。だから、地域



の人を呼ぶんだという発想に子どももなっちゃっているんだけど。逆に言えば、中学校生活は、3年間しかいないわけですよ。むしろ地域のほうに参加をすることを主体に考えないと、こちら辺の転換というのはものすごく、意図的にやっていかないといけないんだろうと、やっぱり思うわけです。ぜひ、学校の教育活動で子どもたちに何かやらせるという枠組みの中でやらせたいんだろうけれど、そこまで今の世の中、学校、学校で全て完結しているわけじゃない時代に来ていると思うんですよ。地域運営学校なんだから。だからむしろ、学校は地域の行事にどんどん子どもたちを参加させていくような、促すようなそういう取組のほうに方向転換していかなければいけないというふうに思います。

この中学生サミットの最後のところに私のほうで一言、言わせてもらって、参加した子どもたちに9月2日には全市的に川の清掃デーがありますよね。ここまで行ったんですから、当然いっぱいの子が参加してくれることを期待していますという言い方をしたのは、覚えていらっしゃるかと。そういうことなんですよ。ただその話した後で、中学校の校長は、教育長はああ言ったけれども、あれは町会の行事なものですからね、ということですよ。そこが違う。やっぱり町会の行事ではなくて、うちの学校としてやるならば、という意識なんですよ。そうじゃない、逆にあの時もお話したけれども、川の清掃デーに学校の先生が来いと言っているわけじゃないの私は。あの場でも言いましたけれども、先生たちは来ないよと、地域の間人であるのは君たちなんだから、学校とは関係がなく、先生に頼らずにその地域の行事に行きなさいよ、というこういう働きかけというのを、これから意図的にしていかなければ、いけないんじゃないかと強く思います。

川の清掃デーに生徒会役員の人たちが何人出たかくらいは、もしかすると、指導課は調べておいた方が良くもしいかなんですよ。これと同じ発想が先日、「子どもミライ会議」というのが、庁舎内で開かれました。子どもたちが来て、八王子の市政のいろんなことを話し合う機会です。子ども家庭部がやっている事業なんだけれど、こんな話し合いを中学生サミットで中学生が話し合っているのに、なんでそれとタイアップできないのか。せっかく、去年の100周年の時にこの「子どもミライ会議」というのが始まって、中学生が参加したじゃないですか。今年101年目になったら、また切れちゃっている。私はあそこに、もし今のようなスケジュール

でいくのだとするならば、この生徒会サミットをやった生徒会のさらに代表者が、このミライ会議に来て、自分たちがこういう話し合いをしたんですよ、こういうふうにやっていきますよということを発表しても良いと思う。だから、これも縦割りというか、教育委員会は教育委員会、もしくは、子ども家庭部は子ども家庭部というか、そういう枠組みになっちゃっている。でも考えてみれば、地域の清掃をする人たちというのは、地域の人たちで自分がどこに所属しているか、何の機会に来ているかなんて関係ないんじゃないのかな。このクリーン活動の人。ぜひそういうものを取っ払って、みんながみんな同じようなことをどこでもやっているんじゃなくて、ちゃんと協力しあえるような、多くの枠組み、そういうものを作ってくような発想で、これからも中学生サミットをやっていってもらいたいなど。そういう意味では、ブランドメッセージ作成の市民ワークショップに、この中身を提供するというのは、すごくそういう意味では、合体した良い取組だと思いますけれども、これからは、特に学校の意識改革をしてもらって、なんでもかんでも、全て学校の行事、教育活動としてやるんだという発想ではなくて、地域にそういうような活動があるんだしたら、そこにどんどん参加をさせていく。いろんな素材があるでしょう。学校で交通安全教室やらなければいけない、だから教育課程に組んでやります、そんなことよりも、9月21日からは、秋の交通安全運動が始まるわけで、そこにいるいろんな行事をやっているわけだから、そこに子どもたちを参加させる、そのような発想を学校に対してどんどん述べていって、発信をしていってもらいたいのと同時に、私たち自身も縦割りをやめよう。そのことをぜひ、来年度に向けて考えていただきたいというふうに思います。

よろしゅうございますね、では本件、報告として承らせていただきます。

安間教育長　　続きまして、生涯学習政策課から、報告をお願いいたします。

岡本生涯学習政策課長　　それでは、7月31日から8月3日までの期間で実施しました。北海道白糠町小学生交流事業について、その実地結果を報告します。

詳細につきましては、生涯学習政策課主査の杉山から説明いたします。

杉山生涯学習政策課主査　　それでは、生涯学習政策課から本年7月8月に行われました。平成30年度北海道白糠町小学生交流事業の実施結果についてを御報告いたし

ます。報告資料と合わせて御覧いただきたく存じます。

本事業は八王子千人同心による開拓という歴史的経緯から繋がりのある北海道白糠町の小学生と本市の小学生との集団生活や体験活動を通じて相互理解や友情を育むことを目的に実施しています。平成11年に事業開始以来、今年度で20回目という節目の年の開催を迎えることになりました。

続いて、今年度の日程について御説明いたします。事業の核となる宿泊の交流事業は1年度おきに白糠町と相互に訪問し合うことをしており、今年度は本市から白糠町を訪問し、現地で自然や文化体験等を行いました。日程は7月31日から8月3日までの3泊4日です。現地では、八王子千人同心の功績を記した石碑訪問のほか、カヌーでの川下りや川遊び、アイヌ文化体験等を行いました。特にアイヌ文化体験では、現地のアイヌ文化保存会の方から、文化や歴史などについて学びました。宿泊の交流事業のほかに、八王子千人同心に理解を深めるために、本市の参加者を対象に事前研修を行うとともに、体験の共有をはかるため、事後研修を実施しました。

次に、参加者でございます。本市からは15名、白糠町からは16名、計31名が参加いたしました。なお、本市の参加者は6月に参加希望者を募集したところ、27名の応募がございました。

続いて、参加者の感想でございますが、特に印象に残ったものとして、白糠町の小学生と共に漕いだカヌー体験や、アイヌ文化体験等が多く挙げられました。東京では体験できない自然や文化に対する関心の高さがうかがえたところです。また来年も参加したい、ボランティアとして参加していきたいなど、事業に対する関心の高い声もありました。なお、参加者の感想文につきましては、後日、感想文集としてまとめますので、御覧いただければ幸いです。

事業の成果でございますが、八王子千人同心の功績の継承、本市と異なる北海道の自然や歴史、文化に対する体験学習、白糠町と本市の小学生の交流とも、所期の目標を達成できたものと考えております。資料の裏面に交流事業の様子を写真として掲載しておりますので、御覧くだされば幸いです。また、8月25日から9月2日までの間、八王子駅南口総合事務所におきまして、パネル展を実施し、広く市民の方々に広く本事業のPRを行います。ぜひ、足をお運びくだされば幸い

でございます。

以上、報告を終わります。

安間教育長 只今、生涯学習政策課からの説明は終わりました。

まず、本案について、御質疑等はありませんか。

笠原委員 白糠町を私自身が知らないなので、少し教えていただきたいと思うんですけども、この事業は有意義な事業だと思いますし、いろんなことを子どもたちが肌で感じあえるというのはとても良いことだなと思います。実は、これは5・6年生だから保護者の方は現地には同行しない、あるいは交流もないのかということ。また、結構、期間が長くありますので、この間、31名とはいえ、子どもたちも初めて会う子たちで、多分、充実はされているんでしょうけれど、どんな形で参加できているのか。それこそ、体調不良なんかもなく参加できるのかと、お考えあればと思いますけれども。

杉山生涯学習政策課主査 まず、保護者の参加についてでございますが、交流事業自体には保護者は同行いたしませんで、子どもたちと私たち事務局、あと、指導員として、ボーイスカウト等に参加されている方、お二方を連れて行っております。健康管理につきましても、私たち、職員が対応できる場所は対応いたしまして、経験豊富なボーイスカウト等の指導員の方との、お助けもお借りしております。

岡本生涯学習政策課長 市としては、指導員を含めて5人で行くんですけども、相手方の白糠町のほうには、社会教育主事の方もいらして、その方も中心に社会教育課、あるいは教育委員会全体として、お迎えをいただいておりますので、現地と一緒に宿泊している方、相手の職員の方も5人くらい一緒に宿泊をさせていただいております。また、本年度は幸いにして、現地も比較的涼しかったので、特に病気もなく帰ってこられました。例年は少し、例えば鼻血が出てしまったとか、気分が悪くなる、というようなことがあると聞いております。

安間教育長 他に御意見等がございますか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、報告として、承らせていただきます。

安間教育長 続きまして、図書館部から報告をお願いします。

太田中央図書館長     それでは、今月8月1日から8月12日までの期間で実施いたしました特別展示「明治の八王子と自由民権運動」の実施結果について、御報告をさせていただきます。

詳細につきましては、中央図書館、小川主査から御説明させていただきます。

小川中央図書館主査     では、特別展示「明治の八王子と自由民権運動」の実施結果について、御説明させていただきます。

お手元の資料を御覧ください。まず、報告趣旨ですが、先日、7月25日に開催された第7回教育委員会定例会において、特別展示「明治の八王子と自由民権運動の開催」について御報告させていただいたところですが、その実施結果について御報告いたします。

開催期間と、会場については、資料2の(1)、(2)のとおりです。開催内容については、資料2(3)、ア、明治の時代の自由民権運動、五日市憲法にかかわる図書館所蔵の郷土資料の展示。イ、郷土資料館や町田市自由民権資料館から貸与を受けた明治時代の様子が見える写真等や自由民権運動に関する所蔵品の複製、パネル等の展示。(4)入場者数は468名と大勢の方にお越しいただきました。3にありますようにアンケートに御協力をいただいた結果なのですが、回収数は68名で、うち小学生から大学生から7名、30代、50代は16名、60代以上、40名、年齢不詳5名という内訳でした。幾つか、御記入いただいた感想を資料に掲載させていただきましたが、最初の「八王子の歴史に触れることのできる貴重な展示だと思います。こういう機会にいろいろと考えることができ、良かったです」などのほか、八王子の歴史に触れる良いきっかけになったという声が多数ありました。また、2番目以降には学生からの感想を幾つか載せていただけたいんですが、学生や親子連れが来場していただき、展示について、会話を交わしていたり、長時間座って調べものをする方も見られました。このように学生の方にも御利用いただき、アンケート結果だけではうかがえない効果があったと思っております。

他には、町田市の自由民権資料館やあきる野市の中央図書館から、展示に御協力いただき、八王子の自由民権運動や、五日市憲法について知ることができて良かったです。そういう連携も良かったという御感想もいただきました。

アンケートで聞いた中で、来場のきっかけもあるのですが、主なものとして、広

報13名、図書館報「らいぶらりい」6名、当日の館内の放送や配布チラシで28名ということでした。広報や図書館報を御覧いただいて、それがきっかけで来場されている方も見られる反面、公立図書館に来て、寄っていただいたという方も多数いらっしゃいました。

今回の内容は、自由民権運動ということで、難しかったので、事前に学校のほうにチラシを配布するということとはしなかったんですけども、内容も中学生以上が読めるぐらいのルビを振るなど工夫しました。中学生以上の学生も見られるということもあったので、今後またそういう展示がある時は、難しくないのでしたら、事前に学校にもチラシを配布させていただきたいと思います。

以上で報告を終わります。

安間教育長 只今、図書館部からの報告は終わりました。

本件について、御質疑はございませんか。よろしゅうございますか。

大橋委員 どうもありがとうございました。とても良い企画だったんだな、ということがよく分かりました。今、お話にありますように、小学生、中学生、学校でも歴史の勉強はしますけれども、それをより深く、理解をするためには、やはりこういう展示がある時には御紹介していただけると、子どもたちもより理解を深めることができるなと思ったところです。

安間教育長 他にございましょうか。

柴田委員 このような、展示は八王子独自の歴史ということにも関連して、図書館でやるという意義があると思います。先ほど、大橋委員がおっしゃったように、学校との連携って社会科の授業との連携というのをもう少し、積極的に行っていただきたいというふうに思います。

来場者アンケートの2つ目のところで、今回、通りすがりで、この展示を見ることができたとありますが、もうちょっと学校に呼びかけていたら、せっかく社会科で、日本の地域について調べるという授業があったと細かく書いてありますので、子どもたちにとって、夏休み期間中でもありますし、生きた地域の教材を学ぶ機会になるのではないかと思います。私も以前、この場で八王子の五日市憲法について初めてうかがって、とても興味深く思いましたので、ぜひ、こういった学習を八王子の中学生を中心に深めていただきたいと思います。

安間教育長 ありがとうございます。他に御意見等ございますか。

村松委員 ありがとうございます。意見です。学校にも周知しないと、今、お二方の教育委員がおっしゃっていましたが、今回工夫をしていただいて、ルビを振っていただくなどしていただいたお陰でアンケート結果見えますと、小学生もアンケートに答えてくださっているんですね。やはり、そういうお子さんたちが皆様の努力を見て、感じ取ってくださって、多分良かったとみてくれたと思いますので、私も特に中学生とか、そういったところに周知をしていただければ、もう少し来場者も来てくださったんじゃないかなというふうに思いますので、また検討をしていただいて、来年にいろいろとつなげていただければと思います。

以上です。

安間教育長 御意見幾つか伺いました。

ほかにございましょうか。よろしゅうございましょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、報告として、承らせていただきたいというふうに思います。

安間教育長 他に何か報告する事項等ございますか。

設楽学校教育部長 指導課から報告がございます。

安間教育長 それでは、報告をお願いします。

上野統括指導主事 私から、夏季休業日中の事件・事故について御報告申し上げます。

本日、8月29日時点で、市立小学校16校、市立中学校5校は、まだ夏季休業日中ではございますが、この段階で把握している事件・事故について御報告させていただきます。

まず、学校管理内での事件・事故についてですが、こちらは0件となっております。

続いて、学校管理外での事件・事故ですが、事故については交通事故については交通事故が小学校で1件となっております。交通事故の概要でございますが、8月24日、金曜日の夕方になりますが、小学校4年生の男子児童が友人と遊んで、御自宅に帰宅する途中で、自転車にまたがった状態で、横断歩道を歩きながら渡っていたところ右側より直進してきた乗用車と接触し、その後、救急搬送されておしま

す。その児童の左頬の打撲、および指の擦過傷となっております。昨日、こちらのお子さん始業式だったんですが、学校よりその御様子をお聞きしております。そちらのお子さんですが、始業式には元気に登校して、授業のほうにも元気に参加しており、その後の経過についても順調ということで、御報告を受けております。

私からの報告からは以上となります。

安間教育長 只今、指導課からの報告は終わりました。

本件について御質疑等はありませんか。

よろしゅうございますか。

熱中症が今年の夏に大変問題になっていたんですけれども、プールのほうを天候の関係で中止したとか、そういう事例とか、そういうのは何かつかんでおりますか。

上野統括指導主事 学校のほうから、7月末の非常に暑かった時期に関しては、数校、プールの気温が35度を超えているので、本日は中止するというので、御報告を受けている学校が数校ございます。

安間教育長 ありがとうございます。

なかなか難しいとは思いますが、気温だけではなくて、暑さ指数ですか、そういったことも加味しなければいけない。何か、国でやるとか、明確な基準等が、いまだに示されていないわけですね。学校での判断というのは、なかなか難しいと思いますから、教育委員会のほうで情報提供しっかりしてあげること、また、豪雨、豪雪の時のような、ブロック内での校長の意見交換、そういったことについても、ちょっと促して、校長が責任もって判断できるような体制、支援作りをしっかりとってあげてください。要望です。よろしく願います。

よろしゅうございますか。

安間教育長 これで、定例会の審議は終わりとなりますけれども、他に委員の方から何かございましょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 ないようであります。

以上で本定例会の議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして本定例会を終了いたします。ありがとうございました。



【午前 10 時 08 分閉会】